

競技注意事項（案）

1. 規則について

- ・本大会は、2010年日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項にて行う。

2. 練習場について

- ・バックスタンド裏の練習場で練習を行うこと。それ以外の練習は他の選手、一般の方の迷惑にならないように十分配慮すること。
- ・投擲練習は禁止する。練習は2次招集後に投擲審判員主任の指示のもとで行うこと。

3. 招集方法

- ・一次招集は競技場の室内練習場内の競技者係にて行うものとする（選手自身がコール用紙の自分のレーンナンバーに○をつける）。その際ナンバーカードのついたユニフォームを競技者本人が持参すること。
- ・二次招集は現地にて行うものとする。
- ・招集時間は下記の通りである。

	一次招集開始時刻	一次招集完了時刻	二次招集時刻
トラック種目	競技開始50分前	競技開始30分前	競技開始10分前
フィールド種目	競技開始60分前	競技開始40分前	競技開始30分前

※ 上記の時刻はタイムテーブルを基準とする。

- ・リレーの招集は、競技者4人とも受けること。（ただし、他の競技に出場している選手に関しては、重複届けを提出している場合のみ代理を認める。）
- ・リレーのオーダー用紙は、一次招集開始60分前までに競技者係へ提出すること。（オーダー用紙は競技者係にて配布する。）
- ・同一時間に2種目以上出場する競技者は、招集時間内に重複出場届けを競技者係に提出すること。（重複出場届けは競技者係にて配布する。）尚、出場種目の重複により招集に来られない場合は代理人が招集を受けなければならない。このとき代理人は重複出場届けを必ず持参すること。

4. 棄権について

- ・事前棄権することが決まった者は、大会前日の18:00までに関西学連事務所（06-6442-8771）に事前棄権用紙に記入しFAXを送信すること。
- ・当日棄権は原則として認めない。やむを得ず棄権をする場合は、棄権者届けを競技者係にて配布するので、その用紙に必要事項を記入し大会本部の総務に提出して承認を得ること。その後、総務より棄権者届の下半分を受け取り、一次招集完了時間までに、競技者係に提出すること。
- ・招集（一次招集・二次招集）に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。

5. 競技者の服装について

- ・ナンバーカードは平成22年度学連登録のナンバーカードを必ず胸、背部にしっかりつけること。ただし、走高跳については胸部または背部だけでよい。
- ・リレー競技に限らず同一大学は同一のユニフォームを着用すること。セパレートユニフォームを使用する場合も、色・デザインは統一させておくこと。

6. 競技について

- ・トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順の上から下とする。
- ・三段跳の踏み切りの位置については、男子は試合当日の審判・選手で協議した上で決定する。また、女子は9mとする。
- ・競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込めない。

7. 競技用器具について

- ・使用器具は原則として、競技場備え付けのものを使用する。
- ・やりは、検定を受け承認されたもののみ使用できる。やりの受付は、競技開始60分前に用器具

庫横で行う。

- ・競技場の器具を破損した場合は、当該競技者の所属大学より必要代金を徴収する。

8. 走高跳について

- ・バーの上げ方は、下記のように行う。

男子 1 m 5 5 (練習)	1 m 6 0—6 5—7 0—7 5—8 0 以後 3 c m 刻み
女子 1 m 3 5 (練習)	1 m 4 0—4 5—5 0—5 5 以後 3 c m 刻み

9. 得点について

- ・男子全種目（10000mW オープンを除く）について、下記の通り得点を加算する。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
対校得点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

10. 競歩講習会について

- ・関西 IC において競歩競技に出場予定の選手のうち、標準記録を突破していない選手は実技及び講義の参加を義務付ける。尚、講習会に参加しない場合は関西 IC の競歩競技に出場を認めない場合がある。
- ・ 関西 IC には出場しないが競歩競技に興味がある選手は、講義のみの参加でも良い。
(指導者の参加も可)
- ・実技の当日エントリーは認めない。講習会のみ当日エントリーは認める。但し、当日10時までに大会総務までその旨を伝えること
- ・男子10000mW競技終了後、指定の部屋において森川嘉男先生(予定)による講義を行なう。
時間と場所はアナウンス等で連絡するので注意すること。

11. 抗議の申し立てについて(規則第147条)

- ・競技進行中に起きた競技者あるいはチームの行為、または順位に関する抗議の申し立ては、結果が正式に発表(アナウンス)されてから決勝の場合は30分以内、次のラウンドが行われる競技では15分以内に、本人もしくは監督から口頭で審判長に申し出なくてはならない。

12. 競技場使用の注意

- ・開門は午前8時30分、閉門は閉会式終了の15分後とする。
- ・横断幕の設置は、通用路を塞ぐことの無いよう注意すること。また、テープ類は使用せず、競技終了後すみやかに外すこと。
- ・ゴミは各大学が責任を持って持ち帰ること(ゴミ袋が必要な場合は正面玄関付近の役員係にて配布する。)

13. 競技場入場時の靴について

- ・競技場に入場する際は全天候走路の保護のため、トレーニングシューズまたはスニーカーを履いて入場すること。それ以外を使用している者について、発見次第、競技場入場を禁止する。
- ・学生補助員・学生審判員についても同様であり、十分に注意すること。

14. 不正スタートについて

- ・不正スタートを行った競技者はすべて失格とする。
- ・スタートの号令は英語で行う。
- ・不正スタート発見装置は使用せず、目視で判定する。
- ・不正スタートの判定に対する参考材料として、ビデオ撮影を行うことがある。

15. その他

- ・本大会参加校は定められた人数の学生審判及び学生補助員を派遣しなければならない。学生審判員は審判バッジ及び胸章が付いたブレザーまたは学生服を着用し、配布するバッジを胸に付けること。学生補助員はクラブ指定のジャージの着用を認める。派遣しなかった場合、または、その業務を果たさなかった場合はその大学の以後の出場を中止させる。
- ・フィールド種目、リレー種目でマーキングに使用するテーピング等は、使用后必ず撤去し持ち帰

るか所定の場所へ捨てること。

- ・記録は正面玄関入口付近に掲示する。
- ・競技場内の更衣室・備え付けのシャワーは使用可能である。
- ・競技中の負傷については、応急処置は主催者が行うが、その後の治療費は本人負担とする。
- ・注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学生の所属する大学の以後の競技を中止させ、処罰を与える。
- ・荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- ・車での上場はできるだけ控え、公共の交通機関を利用し来場すること。
- ・芝生内はすべて立ち入り禁止とする。
- ・競技場内、及び招集場所で携帯電話・音楽再生機器・無線機などの持ち込み・使用を禁止する。
- ・雨天練習場は飲食禁止とする。

関西学生陸上競技連盟 兵庫支部